

「腹腔鏡下胆嚢摘出術における手術時間予測モデルの作成」に関する研究

1. 研究の対象となる方

モデルの作成研究:2012年1月から2019年4月までに当院で腹腔鏡下胆嚢摘出術を行った方

モデルの検証研究:2019年5月から2020年3月までに当院で腹腔鏡下胆嚢摘出術を行った方

2. 研究目的・方法

目的:

腹腔鏡下胆嚢摘出術は、外科及び消化器外科専門医取得のために習得すべき手術のひとつです。一方で、同術式は、胆嚢の炎症程度・持続時間等の違いにより、その難易度には大きな差があります。この研究を通じて、手術時間延長に関与する因子を事前に把握し、難易度毎の適切な術者選択が可能となるような、精度の高い手術時間の予測モデルを作成することを目的としています。

方法:

手術時間と「年齢」、「性別」、「術前2カ月前のCRP最大値」、「術前体温37度以上」、「頸部結石嵌頓の有無」、「胆嚢壁肥厚の有無」、「BMI」、「術者の日本外科学会専門医取得の有無」、「ASA physical status」、「腹部手術既往の有無」などの情報との関係性を分析し、手術時間を予測するモデルを作成します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:病歴、治療歴、検査結果値、年齢、性別、カルテ番号 等

4. 外部への試料・情報の提供

外部への資料・情報の提供はありません。

5. 研究組織

研究代表施設:済生会熊本病院

研究責任者:医事企画室 松本晃太郎

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

電話：096-351-8000（病院代表）

窓口：済生会熊本病院 医事企画室 松本晃太郎

以上